

事務事業チェックシート

事務事業No 175 事業名 斎場運営事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	4	斎場、今福共同墓地の適切な改修、整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		斎場費
	大事業		斎場事業
	事項		斎場運営事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	昭和60年(現施設) ~	
事業実施の根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律・和歌山市斎場条例・同施行規則	
関連個別計画		
担当課・担当課長(Tel)	保険総務課	坂東 貞次
関連課	なし	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	対象者を斎場使用者とし、人生の終焉を迎える場であることから、その儀を厳かに行えるよう安定的に運営する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	116,516	122,305	140,247	142,156	148,784		148,784		148,784		
	伸び率(%)	-	-	20.4%		6.1%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	9,787	9,118	10,102	10,213	10,213		10,213		10,213	
		非常勤職員	1,474	1,502	1,504	1,703	1,703		1,703		1,703	
		小計	11,261	10,620	11,606	11,916	11,916		11,916		11,916	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	59,042	58,711	60,310	61,152	60,831		60,831		60,831		
	一般財源(税等)	57,474	63,594	79,937	81,004	87,953		87,953		87,953		
	所要人数	常勤職員	1.32	1.20	1.35	1.34	1.34		1.35		1.35	
非常勤職員		0.85	0.85	0.85	0.95	0.95		0.85		0.85		
主な予算内訳		業務用燃料費 38,349千円		光熱水費 26,360千円		管理委託料 82,616千円						

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	火葬件数	年度目標値							
		実績値			4,781	4,851			
	貸出件数	年度別達成度							
		実績値			924	1,199			
	成果指標	全体目標値							
全体目標達成度									
年度別達成度									
実績値									
全体目標値									
全体目標達成度									

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>火葬業務及び付随業務としての式場・待合室・霊安室の貸出業務を行うことにより、人生最終儀礼としての葬送儀礼の重要な部分を担っている。人生の最終儀礼である火葬等が厳かに滞りなく執行されるように、さらに気を配り、また、御心痛の御遺族の皆様が少しでも心を和ませることのできる施設を目指すとともに、地域住民の皆様に違和感を感じさせないよう斎場のイメージアップを図っていく。</p>
「見直し」 「改善」案	